

“人生100年時代”に向けた人材力強化へ

生涯学習の充実や再就職の円滑化等に向け政府が始動

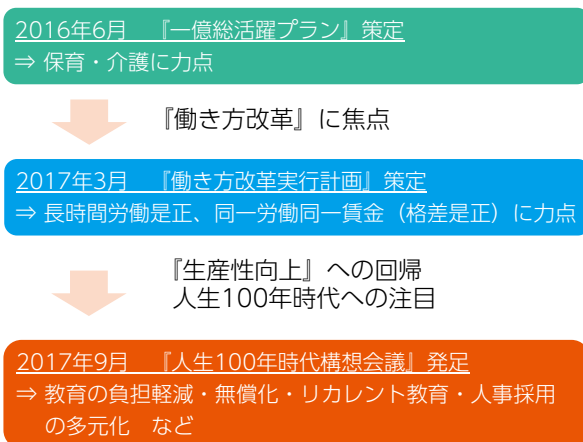
- 2017年9月に『人づくり革命』の具体策を検討する『人生100年時代構想会議』が発足。
- 長寿化のペースが今後も継続していくことを前提とした場合、長生きを視野に入れた人生計画を考えることが求められる。

安倍政権の看板政策であり、人材投資の強化を柱とする『人づくり革命』の具体策を検討していく『人生100年時代構想会議』が、2017年9月に新たに立ち上がりました(図表1)。今後、高等教育や幼児教育・保育の無償化、大学改革、高齢者の継続雇用のあり方などについて議論を進め、年内に中間報告、来年夏前には最終報告を取りまとめる見込みです。

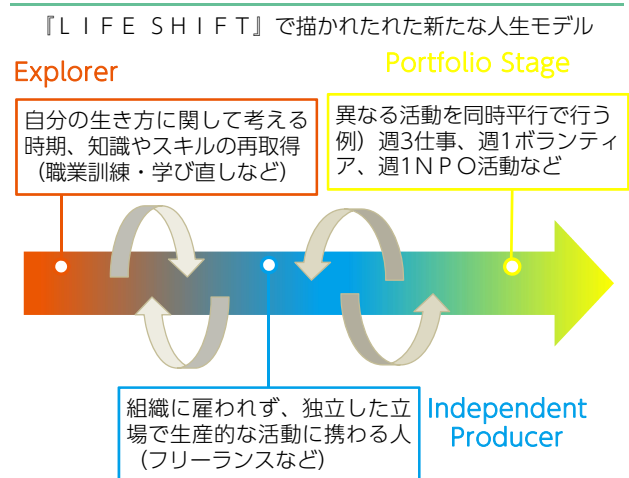
厚生労働省によれば、医療の発展にともない健康な人が増加したことから、2016年の日本人の平均寿命は女性が87歳、男性が80歳となっています。また100歳以上の人口も、右肩上がりが増加しており、統計が開始された1963年の153人から、2017年には約6万8,000人にまで増加しています。

長寿化のペースが今後も継続していくことを前提とした場合、自分の寿命が100歳を超える可能性を視野に入れて人生の計画を立てていく必要があります。『L I F E S H I F T (ライフ・シフト)』の著者であるリンダ・グラットン氏は、今後必要性が増すものとして、“教育” “多様な働き方” “無形資産” の3つを挙げ、これまでの『教育を受ける → 仕事をする → 引退して余生を過ごす』という従来の3つの人生ステージのモデルは大きく変質するとしています(図表2)。日本政府も、『リカレント教育(生涯学習)の充実』、『(特に大企業から中小企業などへの) 転職・再就職の円滑化』、それらのベースとなる『必要とされる人材像の明確化や確保・活用』、『産業界として果たすべき役割』を1つのパッケージとして検討を進めています。

図表1：『人生100年時代構想会議』発足までの経緯



図表2：個人の状況に応じ3ステージを行き来



出所：図表1、図表2は経済産業省・産業人材政策室の資料を基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会